

# 授業科目 成人言語障害学演習Ⅰ

【担当教員名】 栗崎 由貴子		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 失語症臨床の重要な領域のひとつに「評価」がある。この演習科目は、対象者の症状を的確に把握し分析する力を身につけるために、実践に即した形式で行う。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状に応じた評価を選択できる</li> <li>2. 評価を滞りなく実施できる</li> <li>3. 症状を記録できる</li> <li>4. 記録した症状を分析できる</li> <li>5. 分析結果を失語症治療に結びつけることができる</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	評価の流れ			1	講義・演習、担当：栗崎 由貴子
2	インテーク・情報収集			2	講義・演習、担当：栗崎 由貴子
3	総合的失語症検査 1			2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
4	総合的失語症検査 2			2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
5	総合的失語症検査 3			2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
6	握り下げ検査 1			1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
7	握り下げ検査 2			1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
8	握り下げ検査 3			1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
9	握り下げ検査 4			1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
10	握り下げ検査 5			1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子
11	症状分析 1			4・5	演習、担当：栗崎 由貴子
12	症状分析 2			4・5	演習、担当：栗崎 由貴子
13	症状分析 3			4・5	演習、担当：栗崎 由貴子
14	記録の書き方			4・5	演習、担当：栗崎 由貴子
15	まとめ			1～5	講義、担当：栗崎 由貴子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		新編 言語治療マニュアル	伊藤元信・笹沼澄子編	医歯薬出版	2012・6,400円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、演習態度、レポート提出の総合評価とする			【履修上の留意点】		